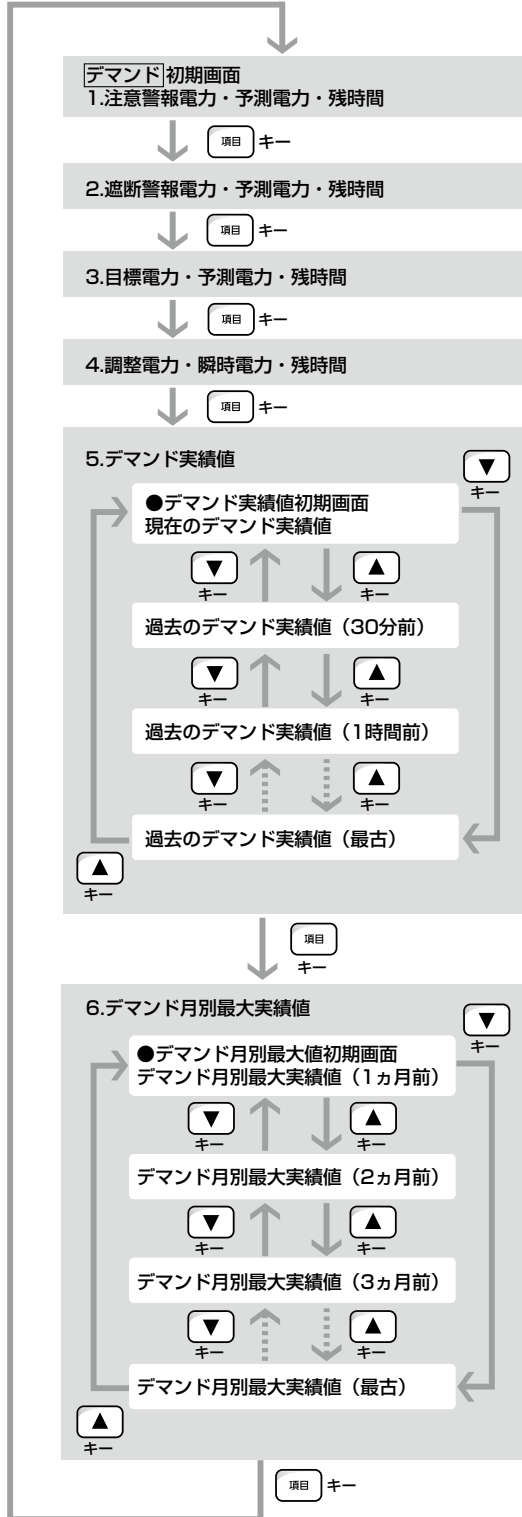


4-1 デマンドを見る

■デマンドメニュー内の表示画面

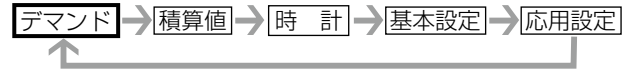
デマンドメニューでは【項目】を押すと、下図のように表示画面を切り替えられます。また、ロギングデータが蓄積されると、【アップ/ダウン】を押せば、デマンド実績値とデマンド月別最大実績値の過去のデータが閲覧できます。



ポイント：【アップ/ダウン】を長押しすることで過去のデータ閲覧画面の早送りができます。

■液晶モニター画面の切り替え

【メニュー】を押すごとに、液晶モニター画面の表示が切り替わります。

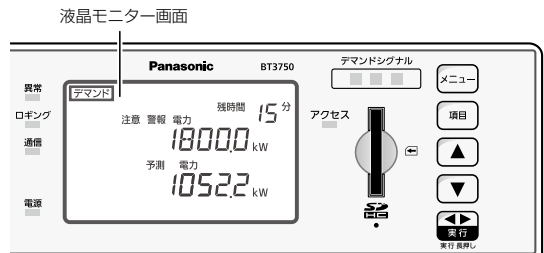


デマンドメニュー表示

【項目】を押すごとに、デマンドメニュー表示画面(1~6)が切り替わります。

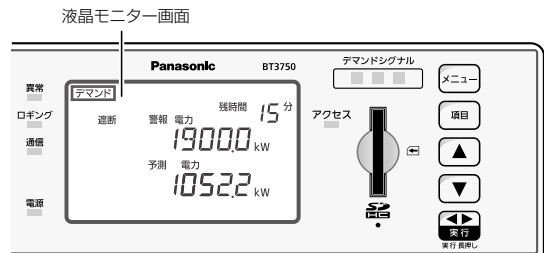
1 注意警報電力・予測電力・残時間

・液晶モニター画面に残時間、注意警報電力、予測電力が表示されます。



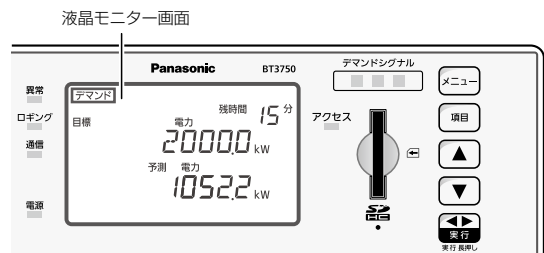
2 遮断警報電力・予測電力・残時間

・液晶モニター画面に残時間、遮断警報電力、予測電力が表示されます。



3 目標電力・予測電力・残時間

・液晶モニター画面に残時間、目標電力、予測電力が表示されます。



概要編

モニター
多回路エネルギー

商品編

エネルギー
S

商品編

デマンド
ウォッチャー

データ編

LAN対応
ユニット

商品編

電力メーター
ユニット

商品編

システム編

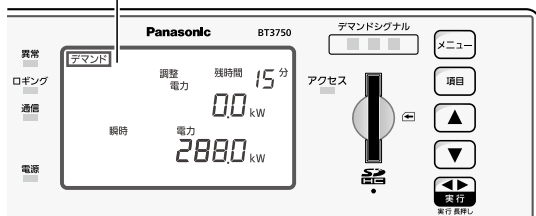
付録

4-1 デマンドを見る

4 調整電力・瞬時電力・残時間

- ・液晶モニター画面に残時間、調整電力、瞬時電力が表示されます。
- ・瞬時電力は本器が過去30秒間で検出したパルス数を平均して電力に変換した参考値です。
- ・瞬時電力は本器の電源投入直後やCTの1次電流を設定した直後など、過去30秒間計測していない状態では「----kW」を表示します。

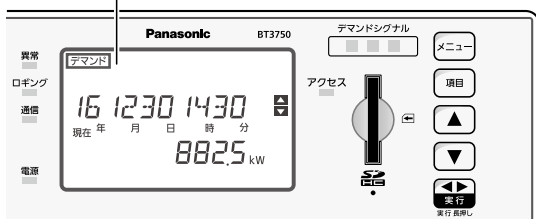
液晶モニター画面



5 デマンド実績値

- ・液晶モニター画面に現在、年月日時分、デマンド実績値が表示されます。
- ・過去のデータがある場合、【アップ/ダウン】で過去のデマンド実績値を表示できます。
- ・デマンド実績値は30分単位で最大65日分記録されます。
- ・過去のデータがある場合、【▲】【▼】が表示されます。
- ・現在のデータを表示している間「現在」が表示されます。

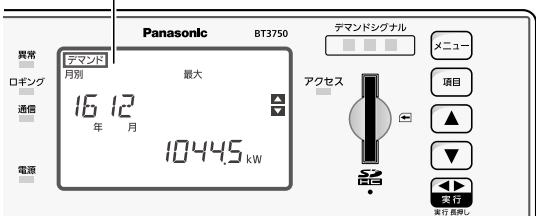
液晶モニター画面



6 デマンド月別最大実績値

- ・液晶モニター画面に年月、デマンド月別最大実績値が表示されます。
- ・過去のデータがある場合、【アップ/ダウン】で過去のデマンド月別最大実績値を表示できます。
- ・デマンド月別最大実績値は1ヵ月単位で12ヵ月分記録されます。
- ・過去のデータがある場合、【▲】【▼】が表示されます。
- ・データがない場合、「--年--月」【----kW】と表示されます。

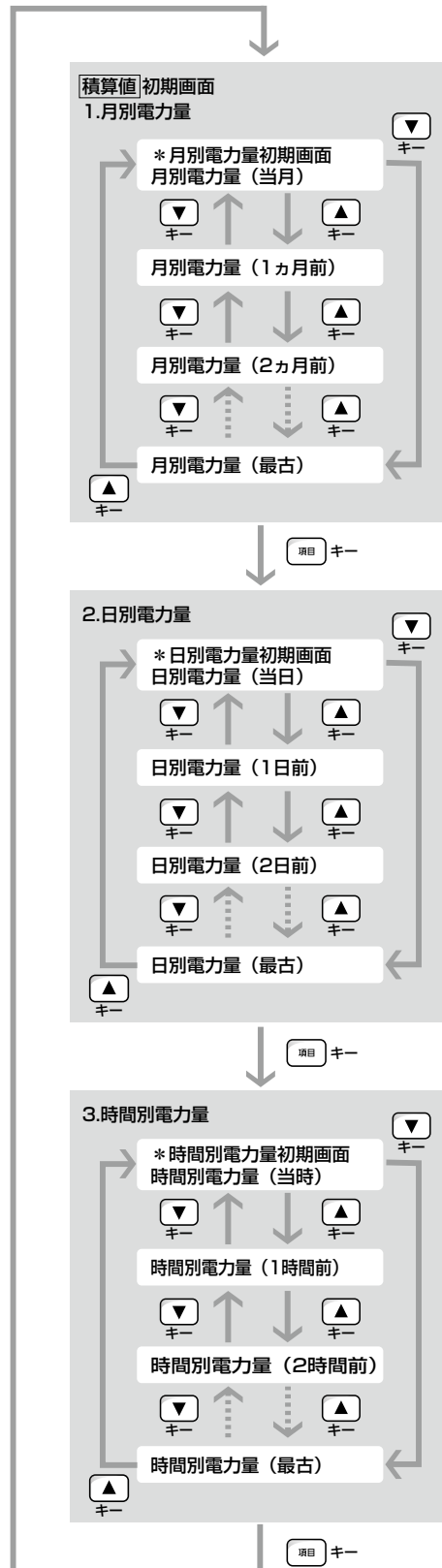
液晶モニター画面



4-2 積算値を見る

■積算値メニュー内の表示画面

積算値メニューでは【項目】を押すと、下図のように表示画面を切り替えられます。また、ロギングデータが蓄積されると、【アップ/ダウン】を押せば、月別・日別・時間別電力量の過去のデータが閲覧できます。

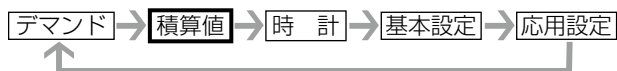


ポイント：【アップ/ダウン】を長押しすることで過去のデータ閲覧画面の早送りができます。

概要編
多回路エネルギー
商品編
エネルギー
商品編
デマンドウォッチャー
データ編
LAN対応
商品編
電力メーター
商品編
システム編
付録

■液晶モニター画面の切り替え

【メニュー】を押すごとに、液晶モニター画面の表示が切り替わります。



積算値メニュー表示

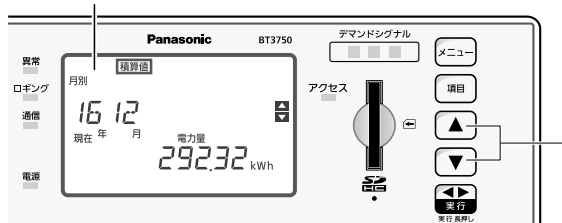
【項目】を押すごとに、積算値メニュー表示画面(1~3)が切り替わります。

1 月別電力量の表示

- ・液晶モニター画面に年月、月別電力量が表示されます。
- ・過去のデータがある場合、【アップ/ダウン】で表示する月別電力量を切り替えることができます。
- ・*過去のデータがある場合、【▲】【▼】が表示されます。
- ・*当月の月別電力量を表示している間、『現在』が表示されます。

液晶モニター画面

【アップ/ダウン】

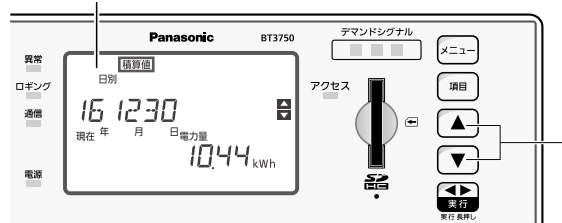


2 日別電力量の表示

- ・液晶モニター画面に年月日、日別電力量が表示されます。
- ・過去のデータがある場合、【アップ/ダウン】で表示する日別電力量を切り替えることができます。
- ・*過去のデータがある場合、【▲】【▼】が表示されます。
- ・*当日の日別電力量を表示している間、『現在』が表示されます。

液晶モニター画面

【アップ/ダウン】

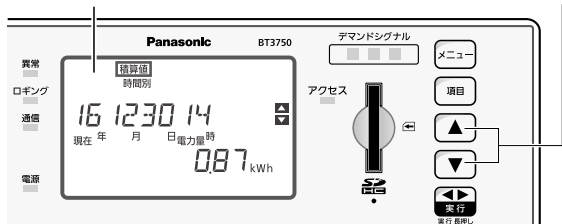


3 時間別電力量の表示

- ・液晶モニター画面に年月日時、時間別電力量が表示されます。
- ・過去のデータがある場合、【アップ/ダウン】で表示する時間別電力量を切り替えることができます。
- ・*過去のデータがある場合、【▲】【▼】が表示されます。
- ・*当該時間帯の時間別電力量を表示している間、『現在』が表示されます。

液晶モニター画面

【アップ/ダウン】



4-3 SDメモリーカード

利用可能なメモリーカードについて

エネルギーモニタシリーズで利用可能なSDHC/SDメモリーカードは、動作確認済のSDHC/SDメモリーカード(16~32GB)が対象です。

ご利用の際には、当社Webサイトより対応表をご確認ください。

注)UHS規格対応のSDHCメモリーカードも使用できますが、高速転送機能には対応していません。

エネルギーモニタ メモリーカード対応表

検索

<https://www2.panasonic.biz/ls/densetsu/denro/enemoni/sd.html>

(2021年4月現在)

SDメモリーカードのフォーマット方法

SDメモリーカードをフォーマットするときは、SDメモリーカード規格に準拠した最新の専用ソフトを下記のWebサイトからダウンロードして行ってください。

注)一般に、パソコンに標準搭載されたソフトウェアでフォーマットしたSDメモリーカードのファイルシステムは、SDメモリーカード規格に準拠していません。

SDメモリーカードフォーマッター

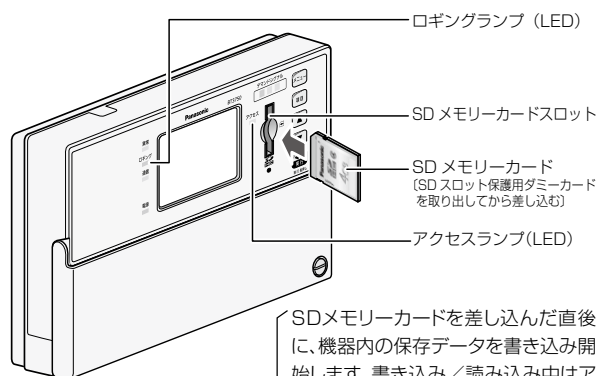
検索

<https://www.sdcard.org/ja/downloads-2/formatter-2/>

(2021年4月現在)

スロットへの差し込み・取り出し

- スロットに装着のSD スロット保護用ダミーカードを指で押し取り出します。
- SDメモリーカードを図の方向で差し込みます。



- SDメモリーカードを取り出すときは、アクセスランプ(LED)が消えているのを確認してから、指でSDメモリーカードを押しください。(脱落防止構造により、取り出しに少し力が必要です)

ご注意

1. ロギングランプ(LED)点滅中はSDメモリーカードを差し込まないでください。
2. アクセスランプ(LED)点灯中はSDメモリーカードを取り出さないでください。(取り出すと、データエラーの原因になります)(書き込みには数分程度かかる場合があります)
3. アクセスランプ(LED)点滅時は、SDアクセスエラー(メモリーカードの空き容量不足やメモリーカードの不具合など)です。
4. SDメモリーカードを差し込んだままで長時間測定や記録をした場合はメモリーカードの残容量を定期的に確認してください。(確認しないとSDアクセスエラーの原因になります)
5. データ書き込み/読み込み後にSDメモリーカードを取り出したときは、付属のSDスロット保護用ダミーカードを必ず差し込んでください。(差し込んでおかないと異物や粉塵などが入り込み不具合の原因になります)
6. 通常初めて使用するときは、フォーマットの必要はありません。

概要編

モーター
多回路エネルギー

商品編

エネルギー
S

商品編

デマンド
ウォッチャー

データ編

LAN
対応

商品編

電カメ
ター

商品編

システム編

付録

4-3 SDメモリーカード

SDメモリーカードへの記録(書き込み)

■SDメモリーカード差し込み時

SDメモリーカードを差し込んだときに、本器内にロギングデータがあれば、以下のデータを書き込みます。

自動ロギングデータ 最大で最新の2ヵ月分(先月分、今月分)※1

詳細ロギングデータ 最大で最新の48時間分※2

※1) 最も多い場合、今月と先月の日別ロギングファイル、時間別ロギングファイルの4つのファイルが書き込まれます。

※2) 機器内にロギングデータがあり、差し込み時間が0時でなければ昨日分と昨日分と本日分の3ファイルが書き込まれます。

※3) 設定ファイルと設定バックアップファイルも作成されます。

■SDメモリーカードがSDメモリーカードスロットに装着されている時

計測中である限り継続記録されます。(正時(00分)に1時間分が記録されます)記録できるデータの量は、SDメモリーカードの残容量に依存します。

書き込み続けてSDメモリーカードの残容量がなくなった場合には、以降の書き込みを停止し、SD書き込みエラー(アクセスランプ(LED)が点滅)となります。SDアクセスエラーとなっていないか、また残容量があるかを定期的に点検してください。

※ロギングファイル容量の目安については、96頁をご参照ください。

また、操作もしくは事象発生により以下のように動作します。

操作・事象	動作
本器の時計時刻が2015年より前か、CTの1次電流が未設定の場合、計測は停止します。	SDメモリーカードへの記録も停止します。
本器の時計時刻が2015年より前かCTの1次電流が未設定の状態から、時計時刻が2015年以降でCTの1次電流を正常に設定すると、計測は自動的に開始します。	新たに記録用のフォルダーが作成され、そこに続きのデータを記録します。
本器電源の停電・復電	新規フォルダーが作成され、機器内の保存データ(下記内容)がその新規フォルダーごとSDメモリーカードに記録されます。 ・自動ロギングデータ:最大2ヵ月分 ・詳細ロギングデータ:最大48時間分

SDメモリーカードからの読み込み

■バックアップデータ

応用設定メニューの「ソフトウェアアップデート・設定読み込み」で、SDメモリーカードに保存されたバックアップデータを読み込み、本器に反映します。

■更新用ソフトウェア

応用設定メニューの「ソフトウェアアップデート・設定読み込み」で、SDメモリーカードに保存された更新用ソフトウェアを読み込み、本器に反映します。



ご注意

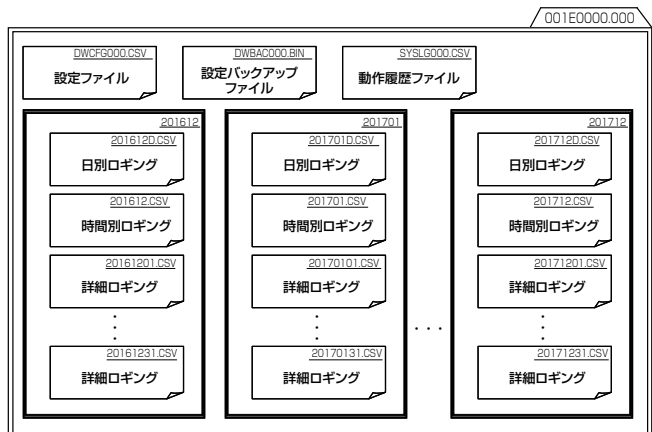
SDメモリーカードの保存済みデータの損失につきましては
当社は一切その責任を負いかねます。

(保存済みデータは、定期的にパソコンなどへバックアップ
されることをおすすめします)

●SDメモリーカードの保存済みデータ損失の可能性がある行為

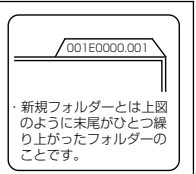
- ①使用方法を誤った場合
- ②静電気などのノイズの影響を受けた場合
- ③SDアクセス中に本器の電源が遮断された場合

ファイル構成例



- フォルダーは機器固有のフォルダーと月別フォルダーの2階層で構成されます。
 - ・最上位フォルダーとして機器固有のフォルダーが作成されます。
(例、001E0000.000)
「001」 : ネットワークアドレス
「E0000」 : シリアル No.
「000」 : SDメモリーカードに同じ番号のフォルダーがあれば自動的にカウントアップされます。
(001E0000.000が存在すると001E0000.001を作成します)
(001E0000.000と001E0000.002が存在すると001E0000.001を作成します)
 - ・機器固有のフォルダーに設定ファイル(例、DWCFG000.CSV)、設定バックアップファイル(例、DWBAC000.BIN)が作成されます。
SDメモリーカード書き出し画面から動作履歴を書き出すと、動作履歴ファイル(例、SYSLG000.CSV)が作成されます。
※動作履歴を書き出しするには、操作が必要です。
「000」は同じフォルダーに同じ番号のファイルがあれば自動的にカウントアップされます。
 - ・機器固有フォルダーに月別のフォルダーが作成されます。(例、201612など)
 - ・月別フォルダーごとに
月単位の日別ロギング(例、201612.D.CSVなど)
月単位の時間別ロギング(例、201612.CSVなど)
日単位の詳細ロギングデータファイル(例、20161201.CSV～20161231.CSVなど)を作成します。
- 応用設定メニューの「ソフトウェアアップデート・設定読み込み」にて読み込むファイルは、SDメモリーカードのトップフォルダー(SDメモリーカードを開けてすぐのところ)に保存する必要があります。
設定バックアップファイル : DWBAC.BIN
更新用ソフトウェア : 3750XXXX.BIN (「XXXX」は更新用ソフトウェアのバージョンとなります)
- ロギングファイルのサイズは、構成や使用条件により変化します。データ容量の目安は1年分で約25MBです。
ただし、エラーとなっていないか定期的に点検してください。
SDメモリーカードのエラー時(容量不足、カード不良時など)には、アクセスランプ(LED)が点滅します。
注)SDメモリーカード内のフォルダー、ファイル(両方含む)数によってはデータ書き込みできません。
(SDメモリーカード2GB:512ヶ以上の場合 SDHCメモリーカード4～32GB:999ヶ以上の場合)
→フォルダー・ファイル数を減らしてからSDメモリーカードを挿入してください。

注)以下の条件時に新たなフォルダーが作成され、それ以降その新規フォルダー内にロギングデータが格納されます。
・SDメモリーカードを挿入したとき。
・SDメモリーカードを挿入したまま電源を再投入(OFF⇒ON)したとき。
・SDメモリーカードを挿入したままロギング開始したとき。
・本器の時計時刻を正時(00分)をまたいで過去の時刻に設定したとき。



ファイル構成例(詳細説明)

2016年4月3日 9:05

計測を開始し、SDメモリーカードを差込む。

- SDメモリーカードを差し込むと、SDメモリーカード内に機器固有フォルダーと設定ファイル、設定バックアップファイル、4月の月別フォルダーが作成されます。
- データは、月別フォルダーの中に蓄積されます。

2016年5月1日 0:00

- 4月30日を過ぎると、5月の「月別フォルダー」が作成されます。

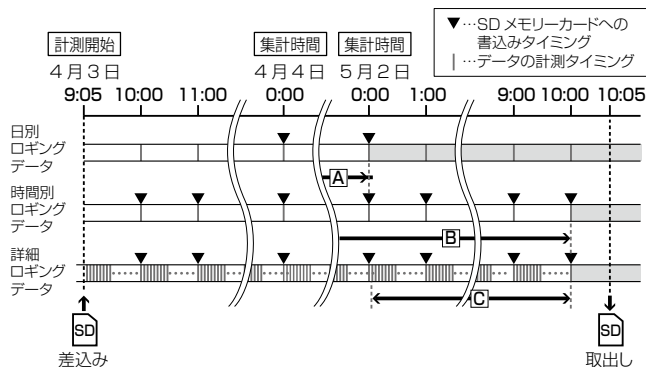
2016年5月2日 10:05

SDメモリーカードを取り出す

- SDメモリーカードを取り出したあとも、内部メモリーへのデータの蓄積は継続されます。

- データ測定とSDメモリーカードへの書き込みの流れ
- ・各データの測定間隔とSDメモリーカードへの書き込みタイミングは下のとおりです。

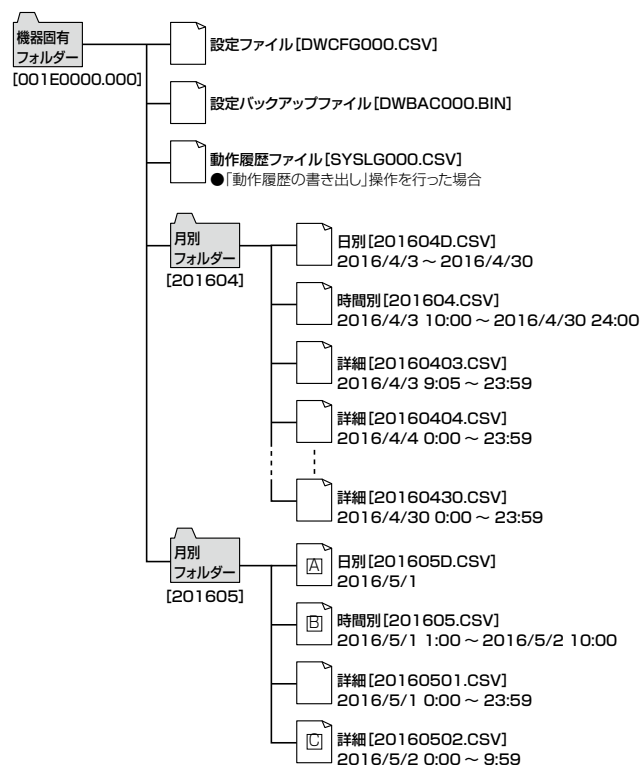
データ	測定間隔	SDメモリーカードへの書き込み
日別ロギングデータ	1時間	1日ごと(0時)
時間別ロギングデータ	1時間	1時間ごと(正時(00分))
詳細ロギングデータ	1分	1時間ごと(正時(00分))



ご注意

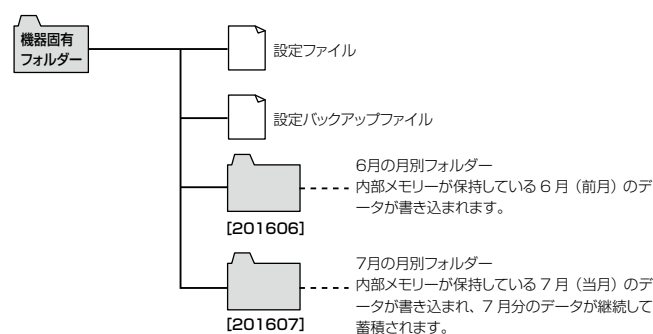
- 部分のデータは、SDメモリーカードへの最終書き込みタイミング以降のデータになるためSDメモリーカードには保存できません。

- SDメモリーカード内のファイル構成
- それぞれのロギングデータファイルには、以下に示す期間のデータが収集されています。



- ・機器固有フォルダーは、SDメモリーカードを差し込むたびに作成されます。
- ・SDメモリーカードを差し込むと、当月と前月の月別フォルダーが作成され、内部メモリーが保持している当月分、前月分のデータが書き込まれます。内部メモリーにそれより前のデータが蓄積されていても、SDメモリーカードに書き込むことはできません。

- 2016年4月に計測を開始し、2016年7月にSDメモリーカードを差し込んだ場合



5月以前のデータは、月別フォルダーが作成されないためSDメモリーカードに書き込むことはできません。

ご注意

内部メモリーの詳細ロギングデータの保持期間は、48時間です。SDメモリーカードに収集するデータを欠落させないためには、取り出したSDメモリーカードを48時間以内に差し込んでください。

概要編	
モーター	多回路エネルギー
商品編	
エネミエールS	
商品編	
デマンドウォッチャー	
データ編	
ユニット	LAN対応
商品編	
ユニット	電カメーター
商品編	
システム編	
付録	

4-3 SDメモリーカード

設定ファイル

CTの1次電流、集計日、目標電力、注意警報電力の割合、遮断警報電力の割合、時計の時刻補正、プザー出力時間、通信プロトコル、通信速度、ネットワークアドレス、計測パルス入力異常の判定時間、接点1、2、3、6の接点操作、設定操作ロックの設定、シリアル No.、ソフトバージョンを出力します。

CTの1次電流	100A
集計日	15日
目標電力	999.9kW
注意警報電力の割合	90%
遮断警報電力の割合	80%
時計補正機能	ON
プザー出力	ON
通信プロトコル	EMIT
通信速度	9600bps
ネットワークアドレス	1
計測パルス入力異常の判定時間	1分
接点1	強制ON
接点2	強制OFF
接点3	自動
接点6	強制OFF
設定操作ロック機能	OFF
シリアルNo.	xxxxxx
ソフトバージョン	x.xx

[CTの1次電流]
・CTの1次電流の設定を出力します。「10A」「20A」・・・「400A」「未設定」

[集計日]
・集計日の設定を出力します。範囲：1～31日

[目標電力]
・目標電力の設定を出力します。範囲：20.0～2000.0kW

[注意警報電力の割合]
・注意警報電力の割合の設定を出力します。範囲：10～99%

[遮断警報電力の割合]
・遮断警報電力の割合の設定を出力します。範囲：10～99%

[時計補正機能]
・時計の自動補正の設定を出力します。「ON」「OFF」

[プザー出力]
・プザー出力時間の設定を出力します。「10秒」「60秒」「ON」

[通信プロトコル]
・通信プロトコルの設定を出力します。「EMIT」「MEWTOCOL」

[通信速度]
・通信速度の設定を出力します。「4800bps」「9600bps」「19200bps」「38400bps」

[ネットワークアドレス]
・ネットワークアドレスの設定を出力します。範囲：EMIT 時：0～254、MEWTOCOL 時：0～99

[計測パルス入力異常の判定時間]
・パルス入力異常判定時間の設定を出力します。範囲：1～60分および「未設定」のいずれか

[接点1、2、3、6]
・接点1、2、3、6の接点操作情報を出力します。「強制ON」「強制OFF」「自動」

[設定操作ロック機能]
・設定操作ロックの設定を出力します。「ON」「OFF」

設定バックアップファイル

●設定情報、付加情報、チェックサムを出力します。

[設定情報]
・設定ファイル(CSV)の全設定値(シリアル No.、ソフトウェアバージョンを除く)を出力します。

[付加情報]
・品番(BT 3750)を出力します。

[チェックサム]
・全データのチェックサムを出力します。

動作履歴ファイル

●起動停止、ロギング計測の状態遷移、表示画面の状態遷移、設定変更、処理実行、異常、警報を出力します。

注)注意警報・遮断警報発報時のデマンド電力・予測電力は、警報発報時の動作履歴に含まれます。
動作履歴の補足情報をご確認ください。

(例)

年	月	日	時	分	秒	履歴コード	結果コード	履歴内容	補足情報
2016	7	10	12	30	32	330	0	時計時刻の設定	2000/1/1 0:01
2016	7	10	12	30	32	321	0	設定確定	
2016	7	10	12	30	32	200	0	時計時刻異常復旧	
2016	7	10	12	30	36	320	0	設定モードへ移行	
2016	7	10	12	30	42	331	0	CTの1次電流の設定	5 A
2016	7	10	12	51	00	375	1	注意警報発生	1500.0kW,1700.0kW

日別ロギング

●電力量、単位、ロギングデータ(年月日とデータ)を出力します。

(例)

年	月	日	電力量	[単位]
年	月	日	kWh	[ロギングデータ]
2016	6	1	99999.99	・電力量の単位を出力します。 ・電力量は「kWh」を出力します。
2016	6	2	99999.99	・電力量のデータを出力します。 ・データがないときは「空白」を出力します。
2016	6	3	99999.99	

時間別ロギング

●計測内容、単位、ロギングデータ(年月日時とデータ)を出力します。

(例)

年	月	日	時	電力量	デマンド(0分)	デマンド(30分)
年	月	日	時	kWh	kW	kW
2016	6	1	1	99999.9	99999.9	9999.9
2016	6	1	2	99999.9	99999.9	9999.9
2016	6	1	3	99999.9	99999.9	9999.9

●電力量、デマンド(0分)、デマンド(30分)の順に出力します。

[単位]
・計測内容ごとの単位を出力します。
・電力量は「kWh」を出力します。
・デマンドは「kW」を出力します。

[ロギングデータ]
・計測内容ごとのデータを出力します。
・データがないときは「空白」を出力します。

●年月日時は、データの出力時刻を示しています。
上記の例の場合：
・2016年6月1日1時の電力量は0時0分01秒～1時0分00秒の積算値になります。
・2016年6月1日1時のデマンド(0分)は2016年6月1日の0時0分～29分に集計したデータを示します。
・2016年6月1日1時のデマンド(30分)は2016年6月1日の0時30分～59分に集計したデータを示します。

詳細ロギング

●計測内容、単位、ロギングデータ(年月日時分とデータ)を出力します。

(例)

年	月	日	時	分	瞬時電力(参考値)	トータル積算電力量
年	月	日	時	分	kW	kWh
2016	6	1	1	0	9999.9	9999999.99
2016	6	1	1	1	9999.9	9999999.99
2016	6	1	1	2	9999.9	9999999.99

●瞬時電力(参考値)・トータル積算電力量の順に出力します。

[単位]
・計測内容ごとの単位を出力します。
・電力量は「kWh」を出力します。
・電力量は「kW」を出力します。

[ロギングデータ]
・計測内容ごとのデータを出力します。
・データがないときは「空白」を出力します。

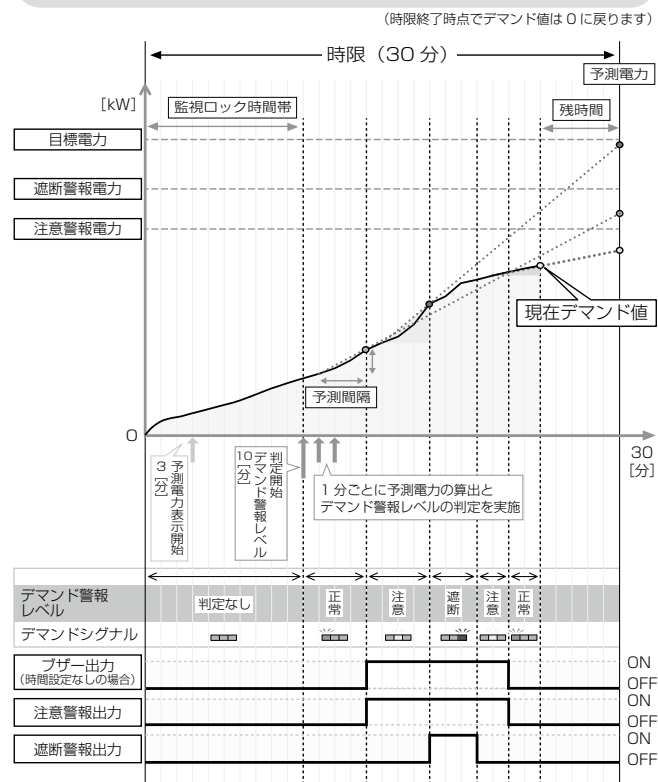
ご注意
詳細ロギングで「(各)分」に格納されるデータ(トータル積算電力量)は本器設定時刻(△△分0(ゼロ)秒)時の積算値です。
同様に格納される瞬時電力(参考値)は、前30秒の平均値です。

4-4 その他

デマンド監視に用いる用語説明

デマンド電力(kW)	30分間の平均使用電力です。
時限	デマンド電力を管理する時間の単位で、30分間です。毎時、0分0秒から30分0秒までの30分間と、30分0秒から0分0秒までの30分間となります。
現在デマンド値(kW)	現在のデマンド実績値です。 現在デマンド値(kW) =時限開始時点から現在までの電力量(kWh)÷0.5(h)
予測電力(kW)	時限開始からの使用電力量に基づいて、時限終了時に到達すると予測される電力です。 予測電力(kW) =現在デマンド値(kW)+[(予測間隔間の電力量(kWh)÷予測間隔(分))×残時間(分)]÷0.5(h)
調整電力(kW)	時限終了時に、デマンド電力を遮断警報電力未満にするために、減らすことが必要な平均電力です。 (ただし、調整電力が負の場合には、本器では0kWと表示します) 調整電力(kW) =(予測電力(kW)-遮断警報電力(kW))×30(分)÷残時間(分)
監視ロック時間帯	デマンド警報レベルの判定をしない時間帯です。時限開始から9分59秒までになります。
残時間(分)	時限内のデマンド監視の残り時間です。現在時刻から時限終了までの時間(分)になります。1分ごとに表示され、残り59秒からは1秒ごとに表示されます。
デマンドシグナル	デマンド警報レベルに応じて点灯するLEDです。本器で確認できます。
警報・ブザー用出力接点	デマンド警報レベルに応じてON/OFFの切り替えをする接点です。 デマンド監視用に、注意警報/遮断警報/ブザー用出力の3つの出力があります。 ブザーやランプ等を接続することで、デマンド警報を離れた場所から確認できます。

デマンドウォッチャーの基本動作



■予測電力の算出について

- ・時限開始後、3分0秒から1分ごとに予測電力を算出します。
- ・毎分0秒に表示を更新します。
- ・3～27分の間は、直近3分の電力量に基づいて予測します。
- ・27～29分の間は、直近1分の電力量に基づいて予測します。
(ただし、時計の時刻を変えた場合や停電が起こった場合などには、その後は時限終了時まで直近1分の電力量に基づいて予測します)

■デマンド警報レベルの判定について

- ・10分0秒から1分ごとにデマンド警報レベルを判定します。
(1分ごとの判定のため、最大1分間は実際の状態とは異なる場合があります)
- ・注意警報電力 ≤ 予測電力 < 遮断警報電力の場合に、注意警報レベルになります。
- ・遮断警報電力 ≤ 予測電力の場合に、遮断警報レベルになります。
- ・予測電力 < 注意警報電力の場合は、正常レベルです。

■デマンドシグナルについて

- ・デマンド警報レベルが正常レベルにある場合に緑色が点灯します。
- ・デマンド警報レベルが注意警報レベルにある場合に黄色が点灯します。
- ・デマンド警報レベルが遮断警報レベルにある場合に赤色が点灯します。
- ・時限終了時に OFF になります。

■ブザー出力接点について

- ・デマンド警報レベルが正常から注意へ、あるいは正常から遮断へ変化する場合に、ON になります。
- ・設定した時間が終わると OFF になります。
- ・時間設定をしない場合は、デマンド警報レベルが正常へ変化する、あるいは時限終了時に OFF になります。

■注意警報接点について

- ・デマンド警報レベルが正常から注意へ、あるいは正常から遮断へ変化する場合に、ON になります。
- ・デマンド警報レベルが正常へ変化する、あるいは時限終了時に OFF になります。

■遮断警報接点について

- ・デマンド警報レベルが正常から遮断へ、あるいは注意から遮断へ変化する場合に、ON になります。
- ・デマンド警報レベルが注意または正常へ変化する、あるいは時限終了時に OFF になります。

●監視ロック時間帯を超過後に、本器はデマンド警報レベルの判定を開始します。

概要編

モーター
多回路エネルギー

商品編

エネルギー

商品編

デマンド
ウォッチャー

データ編

LAN
対応

商品編

電カメーター

商品編

システム編

付録